



“笑顔とブレース”が織りなす20年の歩み 「第20回ブレーススマイルコンテスト」表彰式が開催されました

全国の5歳から
65歳までの330点から
受賞5作品が決定

矯正装置（ブレース）をつけて治療をする患者さんの笑顔を募集する写真コンテスト「ブレーススマイルコンテスト」（主催：公益社団法人日本臨床矯正歯科医会／会長：陶山 肇）の表彰式が、2025年2月12日（水）「ウェスティン都ホテル京都」にて開催されました。2005年の初開催から回を重ね、第20回を迎えた今回は「最高のスマイル!! ブレースとともに」という応募テーマのもと、全国5歳から65歳までの幅広い世代から330点の作品が集まりました。また、今回は主催団体の会員診療所だけでなく、一般の歯科医院や病院に通う患者さんからの応募も多数。治療中の笑顔を前向きに捉える文化が根づいてきたことを実感します。

応募作品は、まず一次審査（2024年9月）で12点に絞られた後、日本矯正歯科学会学術大会（同10月）における来場者投票で、最終受賞作として、次の5作品に決定しました。

※掲載年齢は、いずれも応募時の年齢です。

京都大会賞

『夏祭り』

佐藤 杏さん（京都府在住・11歳）



一般部門最優秀賞

『最高の笑顔』

佐藤 優萌さん（神奈川県在住・17歳）



- 1 2024年9月19日に行われた一次審査の風景。熱心に写真とコメントに目を通す審査員の方々。
- 2 式典の冒頭で、すべての応募者をたたえる、日本臨床矯正歯科医会 陶山 肇会長。
- 3 「おめでとう」の言葉とともに大きな花束を受け取った永井さん。主治医と笑顔のツーショット。
- 4 小学校では合唱部に所属する永井さん。将来の夢は、笑顔のきれいな心理カウンセラーになること。
- 5 式典の最後に、受賞者と関係者全員で記念撮影。ブレースの20年の節目を祝うにふさわしい、輝く笑顔が並びました。



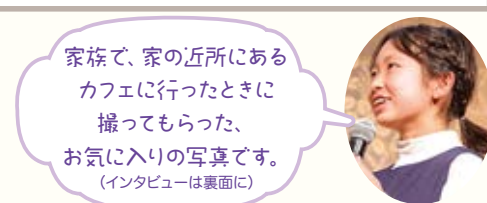
ジュニア部門最優秀賞

『水色と黄色のカラフルスマイル!』

永井 智菜さん（長野県在住・11歳）



この写真は、高校の軽音楽部のライブがうまくいってご機嫌な気分でご撮りしたものです。
(インタビューは裏面に)



家族で、家の近所にあるカフェに行ったときに撮ってもらった、お気に入りの写真です。
(インタビューは裏面に)

去年7月に開催された地元の夏祭りの日に、自宅の玄関前で撮りました。
(インタビューは裏面に)



ジュニア部門優秀賞

『仲良しの友達と♡』

遠藤 隼さん（東京都在住・15歳）



一般部門優秀賞

『親子でスマイル』

高橋 道久さん（埼玉県在住・48歳）



Interview

受賞者の皆さんに、 笑顔の裏側にあるリアルな想いを うかがいました

「矯正歯科治療は、未来への架け橋」 一般部門最優秀賞

佐藤 優萌さん(神奈川県・17歳)



「ブレスマ」には何度も応募してきましたが、今回はじめて受賞できて、それが最優秀賞だったのは本当に光栄です。受け口だった私が矯正歯科治療を始めたのは、小学校3年生のとき。当時から治療を嫌だと思ったことはなく、「いつかきれいになるなら、がんばろう」と思っていました。もちろん、実際にブレスをつけるとうちが動くたびに痛くて、大変だなと感じたこともありましたが。

中学では吹奏楽部に入って、治療中でも演奏しやすいように打楽器を選んだのですが、それが今、高校で軽音部に入り、ドラムをたたいていることにつながっています。そう思うと、矯正歯科治療って、見た目だけではなく、自分の選択や出会いにも影響するものなんだなと改めて感じます。

「顎変形症」を治すため、この夏には外科手術も控えています。でも、不安よりも「よかった自分に会える」ことへのワクワク感のほうが大きいです。治療をして、きれいな笑顔になって、将来は人と関わる仕事に就きたい。その意味で、矯正歯科治療は私の夢につながっています。



「カラーゴムの色選びが楽しみです」 ジュニア部門最優秀賞

永井 智菜さん(長野県・11歳)



治療のきっかけは、お母さんに「歯並びの相談してみようか」と言われたこと。私自身も気になっていたもので、「やってみたい!」ってすぐに思いました。治療するのが、すごく楽しかったです。理由は、矯正歯科の先生からもらったマンガ※を読んで、楽しそうって思ったから。ブレスをつけてからは、2か月くらいで歯が整ってきて、ブレスをつけて2か月くらいで歯並びが結構よくなってきて、「え、たった2か月でこんなに変わるの?」ってすごくうれしかったです。だから歯磨きもがんばっています。



小学1年生のときに治療をはじめ、今年で4年目。今は、通院のたびにカラーゴム(モジュール)を選べるのが楽しくて、「今度はどんな色の組み合わせにしようかな」と考えるとワクワクします。今日はピンクや黄緑の“マカロンカラー”にしてみました。

治療が終わったら、りんごを丸かじりしてみたいし、笑顔でご飯が食べたいです。これからもカラーゴムを楽しみながら、治療を前向きに続けていきます。

※『キッズの歯並び わくわくBOOK』(小学館スクウェア刊)に掲載されたマンガ「ユウタの大冒険」

矯正歯科 治療中の方を対象にした 笑顔のフォトコンテスト 第21回 ブレススマイルコンテスト 作品募集中

- ★募集期間: 6月1日(日) ~ 8月17日(日)
- ★テーマ: 『素敵に笑顔は、チャレンジの証』
- 応募条件、応募方法などはQRコードから
公式ホームページをご確認ください。
- ★賞金
 - 最優秀賞(一般・ジュニア各部門1名) 賞金7万円
 - 優秀賞(一般・ジュニア各1名) 賞金3万円
 - 大会賞(1名) 賞金3万円
 - 入選作品 5,000円分のQUOカード
- ※応募者全員に記念ポスターを進呈



「笑うのが、どんどん楽しく なってきました」 京都大会賞

佐藤 杏さん(京都府・11歳)



「ブレスマ」に応募したのは、通っている矯正歯科の先生にすすめてもらったのがきっかけです。笑顔がテーマと聞いて、「それなら、いつもの自然な笑顔でいいかも」と思って、家族に撮ってもらった写真で応募しました。

私は小さい頃から人前で笑うのがちょっと苦手で、歯並びを気にしていたこともありましたが、でも、治療が進むうちに、自分の笑顔に少しずつ自信が持てるようになってきて。歯がきれいに並んでくると、笑うことが楽しくなりました。

これまでクラブチームに入ってチアダンスをがんばってきました。でも、中学生になったら、前から興味があったイラストにも挑戦してみたいなと思っています。それから私はお餅が大好きなので、ブレスがとれたら、おいしいお餅を思いきり味わって食べたい! 今回の受賞は本当にびっくりでしたけど、先生や家族と一緒に喜んでくれてうれしかったです。これからも笑顔を大切にしていきたいし、自分の経験が、矯正歯科治療をがんばっている誰かの励みになればいいなと思っています。



★「第20回ブレススマイルコンテスト」表彰式について、
くわしくは日本臨床矯正歯科医会 公式ホームページ内
「トレンドウォッチ」37号をご覧ください

